

## 議 事 要 旨

|       |  |     |                                   |
|-------|--|-----|-----------------------------------|
| 会議名   | 第 28 回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議  |     |                                   |
| 日 時   | 2025 年 1 月 28 日 (火) 14:00~15:40  | 場 所 | 中央図書館<br>中集会室                     |
| 出席者   | 末永委員 (高橋委員から変更) 兼子委員 櫻井委員<br>松井委員 長尾委員 福田 (比) 委員<br>香月子育て推進課長 高田教育総務課長<br>安本指導主事 (指導課長代理) 中嶋図書館長<br>【事務局】竹川副館長 本郷担当課長<br>中川企画・地域支援係係長<br>山田サービス係担当係長 小林主事<br>吉田主任 野木主任 廣瀬主事  | 欠席者 | 吉成委員<br>大石委員<br>福田 (有) 委員<br>菊地委員 |
| 項 目   | 議 事 内 容  |     |                                   |
| ◎開会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出欠確認</li> <li>・ 資料確認</li> <li>・ 中嶋図書館長挨拶</li> </ul> <p>・ 本会議は、「第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度前半期取組状況」「第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定状況」それぞれの報告及び情報交換を趣旨とする。</p>  |     |                                   |
| ◎議題 1 | <p>「第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度前半期取組状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 2 を用いて、各取組担当課から、第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度前半期取組状況の報告を行った。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <p>各取組の自己評価の基準は、『A: 予定以上に取り組めた、B: 予定通りに取り組めた、C: 予定よりも取り組めなかった』となっている。</p> <p>○「基本目標 I」についての報告<br/>(図書館)</p> <p>●1-1 図書館でのおはなし会</p> <p>全館の担当者による打合せを 4 回行い、効果的なおはなし会について議論した。今後、2025 年度に英語のおはなし会の開催について検討するた</p> |     |                                   |

めに、職員向けの英語のおはなし会の研修を3月に行う予定。

(子育て推進課)

●1-2 「子育てひろば」でのおはなし会

おはなし会の読み手について、職員だけではなく、ボランティアに行ってもらおう機会を設けた。

(児童青少年課 ※事務局代読)

●1-3 学童保育クラブでのおはなし会

中央学童保育クラブでは、毎週おはなし会を開催している。

おはなし会では、高学年の児童が、話し手として参加し、低学年の子を楽しませていた。

(事務局)

基本目標Ⅰの主な取り組みは、子ども向けおはなし会の実施や子どもへの読書活動普及などがある。

各取り組み項目の自己評価としては、16項目中A評価が3個、B評価が13個だった。

前半期の取組状況としては、2023年度の前半期と同水準でおはなし会や講座などのイベントを実施することができた。

◇質疑

(質問：福田比呂子委員)

1-17について、研修の内容を共有してほしいとのことだが、伝える場がなく、せっかくの研修内容を伝えられない。私たち図書指導員はボランティアのため、できることは限られている。先生方が意識を持って、取り組んでももらえないと厳しい。特に司書教諭や司書のように職員として学校で図書活動をすすめる立場の人が積極的に取り組んで行かなければ、学校での図書活動を広げていくことは難しいのではないかと。

(回答：指導課 安本指導主事)

研修の第一回目は、学校図書館担当教員全員に参加してもらっている。改めて、学校に情報共有の時間を設けるよう伝えていく。

○「基本目標Ⅱ」についての報告

(子育て推進課)

●2-3 公立保育園および地域子育て相談センター

園児が図書館に赴き、団体貸出を利用している。

(教育総務課)

●2-7 学校図書館の蔵書整備

全校で学校図書館蔵書整備計画を確認した。また、学校図書館図書廃棄規準の策定に向け、意見を募った。

(事務局)

基本目標Ⅱの主な取り組みは、図書資料や整備や学校図書館の充実、保護者に向けた読書イベントの情報発信などである。

各取り組み項目の自己評価としては、15項目すべてがB評価だった。

前半期の取組状況としては、図書館や子どもセンター・学童クラブ等で本の新規購入や再利用本の活用を行ったり、各学校に「学校図書支援貸出」について周知して同制度を利用しやすくしたりするなど、図書の充実を図ることができた。

(質問：兼子委員)

現在、大型絵本の一覧表はホームページでは見ることができず、直接図書館にて確認する必要がある。ホームページから見るようになるようにならないか。

(回答：図書館 山田担当係長)

2月に児童担当全体で会議を行うので、議題に挙げる。

(質問：福田比呂子委員)

ボランティア先の学校の副校長より、学校でもいつか電子書籍を活用していきたいとの話があったので、伝えておく。

(回答：教育総務課 高田課長)

2023年度に、図書館が入れている電子書籍サービスを公立小・中学校で使用できるようになった。  
学校図書館にある本の電子書籍化ということであれば現在考えていない。

○「基本目標Ⅲ」についての報告

(指導課)

●3-1 学校図書館担当者研修

1回目の学校図書館担当者研修を悉皆研修とし、実践事例の共有や学校図書館担当教員と図書指導員との連携について、研修することができた。

(図書館)

●3-4 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施

●3-5 図書館おはなし会ボランティアの養成

今まで行ってこなかったボランティア養成講座（絵本）を実施し、14名の参加があった。

（事務局）

基本目標Ⅲの主な取り組みとしては、学校図書に関わる人への研修や保護者等への講座、読み聞かせボランティアの育成である。

各取り組み項目の自己評価としては、6項目すべてB評価だった。

前半期の取組状況として、概ね2023年度と同水準で学校関係者への研修や保護者等への講座を実施することができた。

（質問：福田比呂子委員）

3-1について、学校図書館を巡回する職員というのは、いつ決まったのか。学校図書館に司書を置くのではなかったのか。

（回答：指導課 安本指導主事）

町田市教育プラン 2019-2023 では、学校図書館に司書を配置する旨記載していたが、町田市教育プラン 24-28 では、職員が巡回し、学校図書指導員のご意見を取り入れていくこととなった。

（質問：兼子委員）

保護者向け絵本読み聞かせ講座の告知はどこで行っているのか。図書館のみか。学校などへの周知は行っているか。

（回答：図書館 山田担当係長）

学校への案内はした。個別の学校での周知方法はわからない。広報まちだでも周知している。周知方法は今後の課題として受け止める。

・報告書（案）を承認し、内容を確定した。

◎議題 2

「第五次町田市子ども読書活動推進計画」について

・資料 3 を用いて、事務局から、第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定状況について説明した。

（事務局）

7月17日の子ども読書活動推進計画推進会議にて提示した計画案をもとに、市民意見募集を行った。その後、策定委員会を経て、計画案を修正した。

計画案はこの後、3月に教育委員会に提出し、計画の策定となる。何かご意見等がありましたら、本日・後日問わずメールにて頂戴する。

|              |   |
|--------------|---|
| <p>◎情報交換</p> | <p>資料 3-1</p> <p>第五次町田市子ども読書活動推進計画（案）市民意見募集の実施結果は、意見募集の際に配布した市民センターなどや図書館HPで公開した。</p> <p>実施結果としては、意見募集を9月18日から10月17日まで行い、4名から8件のご意見があった。</p> <p>ご意見は、計画の取組について6件、その他2件である。</p> <p>内容としては、まちともでの図書室利用について1件、図書館の蔵書について1件、学校図書館について4件となる。</p> <p>その他としては、図書館再編のご意見1件、読書活動への取組について1件となる。</p>   |
|              | <p>資料 3-2</p> <p>市民意見募集後に、策定委員会を行った。</p> <p>策定委員会から表記についての意見があったため、一部文言整理をしている。</p> <p>その他修正点として、P7対象となる子どもの年齢について、指摘があったため修正。</p> <p>「0歳から18歳までの子どもたちを対象とします。」としていたが、現在18歳が成人となった。高校3年生だけ途中から子ども読書の対象ではなくなるか、ということ、そういうものではないため、計画の基となっている「子どもの読書活動の推進に関する法律」(P42)の第2条に、子どもを（おおむね十八歳以下の者という）との表記があるため、この部分を踏まえて、計画には「おおむね」の表記を加えて18歳も対象にする。</p> <p>資料 3-3</p> <p>概要版は本編と同じく、対象年齢に「おおむね」を追加している。その他は特に修正はなし。</p> <p>今後の予定としては、3月には策定になるため、ご意見があれば2月9日までに、企画・地域支援係までメールで送付していただきたい。</p> <p>（中嶋委員長）</p> <p>皆様が行っている子どもの読書活動推進のために行っている工夫や、ご意見等をおうかがいしたい。</p> <p>（末永委員）</p> <p>南成瀬小学校では、「できる人が、できることを、できる時に」をモットーに図書ボランティア活動をしている。</p> |

年に一度、全生徒を集めておはなし朗読会を行っている。プロジェクターで絵本を投影し、お母さん方がアテレコをするもの。今の子どもが触れてこなかった、落語や昔話を扱っている。ちょっとした小芝居を入れており、村人を追いかけるシーンで、実際に体育館の中で棒を持って追いかけてまわしてみたりしていて、子どもたちがものすごく食いついてくれた。おはなし会后、図書館に落語の本を借りに来るようになった。

また、季節やイベントに絡めた絵本の読み聞かせも行っている。

(兼子委員)

木曾境川小学校にて、おはなし会を行っていて、学期ごとに学年を分けて実施している。12月に行った際は、最初に昔話をペープサート（紙に絵を描いて、それを動かしながら行う人形劇のようなもの）で行った後、漢字クイズをしました。その後、何かメッセージ性のあるものやろうということで、今の5・6年生で給食を残してしまう子が多いということがあったため、食肉加工センターに勤めている方のお話の紙芝居を行ったところ、先生から「心なしか、給食を残す量が減った」というお話をいただいた。

続き物や同じ作者の本等、関連付けて読み聞かせをすることで、興味をもって貰えるようにした。

また、学校の読書週間にて、本にちなんだ給食が出たりしていた。

(櫻井委員)

未就園児のための子育てひろばの一環として、飛び出す絵本というのを行った。講師に来てもらって、たくさんの絵本を持ってきてもらい、紹介してもらおうというもの。1歳くらいの子でも、聞き入っている姿が印象的だった。

また、園庭開放を月・金に行っている。その担当教諭が積極的に図書館で絵本や紙芝居を借りてきて、未就園児に見せてくれている。

忠生図書館へ行き、子どもたちが自分の好きな本を借りてきて、先生に読んでもらうことも行っている。図鑑が好きな子どもたちが多く、園庭の虫や木の実を調べたりしている。

電子黒板をこの度購入したため、今後の活動に役立てていきたい。

(松井委員)

絵本にPOP等を付けて、親子で絵本を手にとれるスペースを設置している。月頭に絵本の交換をしているが、交換前の本を読みたいという声もあり、絵本との出会いを提供できていると感じている。

また、子どもが好きな本を手にとって、読む時間を毎日設けている。まず手にとって見るところから、文字を覚えて年齢に合わせて内容の理解へと進んでいる。絵本の取り合いが起こるなど、良い意味で執着が生

|            |  |
|------------|--|
| <p>その他</p> | <p>まれていると感じる。<br/> (長尾委員)<br/> 3ヶ月くらいの首がすわっていないくらいの子でも、絵本をじっと見ていたりするので、絵本のすごさを感じている。本の読み聞かせ以外にも、手遊び、テープサート等の人形劇を行っている。<br/> 子どもが大きくなると、本を自分で読んでみたりしているので、おはなし会をするのは、本との接点になっていると感じている。</p> <p>(福田比呂子委員)<br/> 図書指導員として活動している小学校では、低学年は絵本室、中・高学年は図書室で週1回図書の授業があり、低学年は毎週利用している。<br/> 図書の授業では、読み聞かせ、図書の返却、貸し出し、図書選びの手伝い等を行っている。読み聞かせは季節のもの、日本や、海外の伝統を伝えるもの、学習に関連づいたもの等、10分くらいで読めるものを選んでいる。例えば6年生では、鳥獣戯画を元にした絵本や、アイヌの昔話などを紹介している。<br/> 授業以外にも、中休み、昼休みに、図書室を開放して、図書の返却、貸し出しを行っている。</p> <p>事務局から次回会議開催予定の連絡を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |
|------------|--|